

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

大分県

行 事 名 称	第 64 回文化財防火デー防火訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 20 日（土）9：30～11：00
実 施 場 所	横津神社（大分県速見郡日出町藤原西部）
主 催 者	日出町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

午前 10 時、横津神社神殿南隣の森林より火災が発生し、神殿が延焼する恐れがあるものと想定。社殿の近隣に設置されている貯水槽（兼防火水槽）を用い、放水して消火することを想定。

訓練の内容

午前 10 時の火災発生想定時刻より、総代長による 119 番通報、総代による重要物品（模擬）持ち出し訓練、消防署・消防団による放水訓練を実施した。その後、参加者による消火器の初期消火訓練を実施した。

参加者及び役割分担

横 津 神 社 神 職（3 名）：119 番通報、重要物品搬出
 藤 原 地 区 住 民（20 名）：初期消火訓練
 日 出 町 消 防 団（20 名）：放水訓練
 日 出 消 防 署（10 名）：放水訓練、初期消火訓練指導
 日 出 町・日出町教委（7 名）：全体統括・挨拶・講評・現場立会
 日出町文化財保護委員会（7 名）：謝辞・現場立会

特に工夫した点

- ・神職による初期対応訓練に努めた（神職による 119 番通報、重要物品持ち出し訓練など）。
- ・文化財防火デーの意義とともに、訓練会場である横津神社の文化財的価値について説明を行った。

問題点・課題

- ・境内地貯水槽を用いた消火活動は即時対応として有効と判断された。しかし、消火栓を用いていた場合、神社神殿より距離を有すため中継の労力を強く要し、また、登坂勾配のため放水時の圧力への不安が見い出された。今後、藤原地区・横津神社の防災上の課題として捉えられる。

その他

- ・日出町内においては、粉末消火器を実際に用いて初期消火訓練を実施する機会は少ないため（訓練時における近隣への消火剤の飛散・汚損など）、継続して取り組んでいきたいと考えている。

訓練風景

別紙のとおり



訓練会場（横津神社）



訓練説明会



重要物品持ち出し訓練



放水訓練（中継）



放水訓練（放水）



閉 会



初期消火訓練（説明）



初期消火訓練（消火）